

ぼだい樹

54

2005/8/24 発行
〒496 0851
津島市神明町2
電 0567-25-4154
F 0567-25-4199

おせがきへよつこそお参りくださいました。
私たちは 誰にでも 親があり先祖があり、
その遺伝子は 脈々と受け継がれて 今に
至っています。時々 今日あったことが、

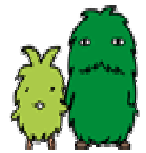
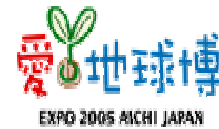
以前にどこかで体験したように思うときが
あります。先祖が出会ったことを 私達も
何処かに記憶しているのです。

神宮寺を今に残す為 努力した宝寿院住職
宥三は 弟子の宥恵(住職宥宏の祖父)に
全てを託して 性海寺の住職として 世を
去りましたが、弘法大師空海の教えは 今
神社の奥に、昔と変わることなく受け継が
れて 皆様方へ伝えられています。

宝寿院は 誰にでも開かれたお寺として
生き続けるため檀家制度を廃止しています。

誰の上にも 法は 教えは 平等です。

お釈迦様は八十二才の生涯の終わりを
悟られ、クシナガラの花咲き乱れる
中に 身を横たえられました。



愛・地球博の会期も
後わずかになりました。
チケット1枚のある方
入場券売り場で
夕方五時からの入場券
2枚に交換できます。

三十二才に正覚を得て 悟りを開かれた後
八十二才までインド諸国を行脚して 苦し
みの中にある人々に教えを説き、悟りへと
導いてくださいました。解脱とはこだわら
ない私になる事、人のために生きる事を示
して、最期に 金色に輝かれました。

この尊いお釈迦様のお姿を 私たちも心に
とどめて 安らぎに満ちた毎日を送りたい
ものです。インドアジャータ石窟の涅槃像
に出逢つて以来 いつかは 宝寿院の庭に
奉安したいと心に誓っていましたが、やっ
と来春早々に出来上がります。お釈迦様は
頭北面西に奉安して 又一部納骨塔として
未永く安置します。その時はぜひ 皆様と
共にお祝いしたいと思っています。宥宏責

宝寿院行事あんない

九月 二十二日 二時より

永代 経

毎月一・八・十五日 十時

厄除け薬師護摩祈祷・法話

毎月二十四日 十時より

水子供養・お地藏様縁日

毎日 運勢・家相相談(予約)

出張祈祷致します。

ホームページ開設 見てね

「ブログ版ぼだい樹」

Googleで 検索してください

「コメント下さい」



真言宗智山派

元神宮寺

宝寿院

<http://bodaiju.de-blog.jp/yakushi>

